

地域共生社会の実現に向けた市民の参画を促す取り組みは

支えあい意識の醸成を深め、誰もが地域活動に参加しやすい環境の整備に努める



岡本 禎稔
自由民主党田原市議団

地域共生社会の実現について

問 本市における地域包括ケアシステムの構築の現状は。

答 市内に高齢者支援センターの設置や生活支援コーディネーターによるネットワーク構築、認知症初期集中支援チームを設置し体制整備を図っている。

問 地域包括ケアシステムの強化に向けた取り組みは。

答 地域に共通した課題の明確化を図り、高齢者個人に対する支援の充実と、社会基盤の整備を同時に進めていく。

問 地域共生社会の実現に向けた基本的な考えは。

答 我が事・丸ごとの地域づくりと包括的な支援体制の整備を重点的に図ることにより、地域共生社会の実現を目指す。

問 我が事・丸ごとの地域づくりについて、今後どのように進めていくのか。

答 担い手などの人材を育成する取り組みをさらに進め、縦割りや他人事にならないよう、包括的な相談支援体制の構築を進める。

問 地域共生社会の実現に向けた市民の参画を促す取り組みは。

答 地域における助け合い、支えあい意識の醸成を深め、誰もが地域活動に参加しやすい環境の整備に努め、人材の掘り起こしや市民活動・ボランティア活動の活性化を促す。

問 介護予防対策の内容と推進方法は。

介護予防対策の内容と推進方法は、参加が少ない男性の介護予防教室への参加を働きかけるとともに、地域の実情に合わせた住民が集まる通いの場づくりを進める。また、介護予防の担い手となる介護予防推進員を毎年10人程度養成していく。

問 認知症対策には予防も重要だと思いが。

企業やJ A等と連携しながら、働き盛りの世代を中心に認知症の正しい知識の普及・啓発を進め、高齢になっても役割を持ち、社会参加ができる機会を増やすよう努めていきたい。

